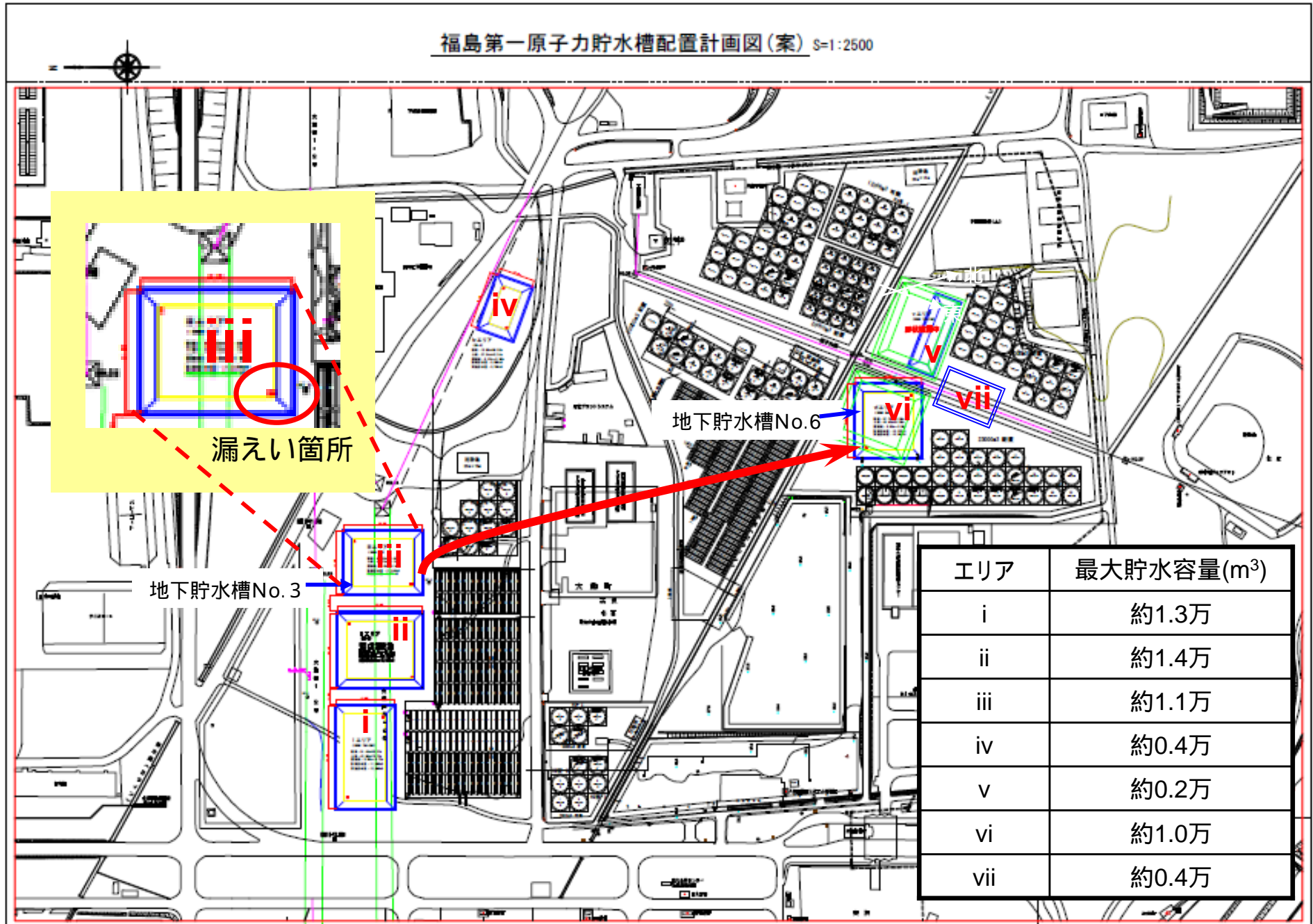


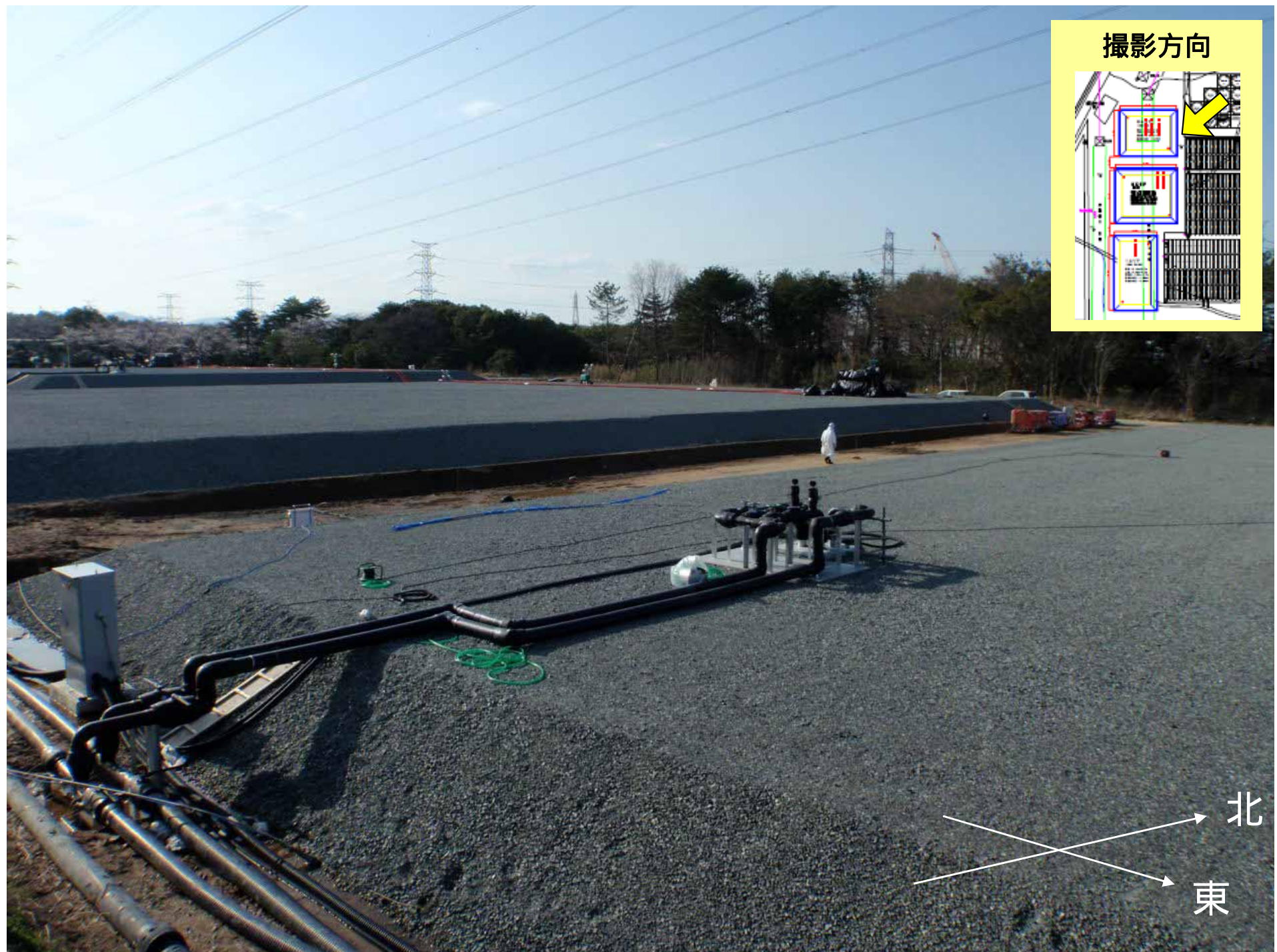
地下貯水槽No.3からNo.6への移送開始時の 配管フランジ部からの水の漏えいについて

- 地下貯水槽No.3からNo.6への移送について、本日4月11日午後2時から移送を開始いたしましたでしたが、同日午後2時3分に移送ポンプ出口配管の接続部（フランジ部）より漏えいが確認されたことから、同時刻に移送ポンプを停止いたしました。
- 漏えいについては、移送ポンプを停止したことにより停止しております。また、漏えいした水は、覆土中に染み込んでおります。
- 移送ポンプ出口配管の接続部の漏えいは、No.3タンクマンホール付近の貯水槽上部の覆土（盛土）で2m×3mの範囲、漏れた水は覆土に染み込んでおり、敷地境界からの流出のおそれはありません。なお、漏えい量は約22リットル（計算値）と推定しております。
<ご参考> 地下貯水槽No.3の全ベータ濃度： 2.9×10^5 Bq/cm³
- 地下貯水槽No.3からNo.6への移送中に発生した水漏れについて、移送ポンプ出口配管の接続部（フランジ部）からの漏えいの原因調査のため、配管フランジの分解をおこないます。
- また、漏えい水が滴下して染みこんだと思われる地下貯水槽上部覆土（盛土）の除去作業を開始いたします。

移送ルート（イメージ）と漏えい箇所



地下貯水槽No.3 南西側マンホール



【提供】東京電力株式会社（4月9日撮影）

地下貯水槽No.3 南西側マンホール（覆土養生後）



【提供】東京電力株式会社（4月11日撮影）

地下貯水槽No.3南西側マンホールの移送ポンプ 漏えい箇所（フランジ部）全体



【提供】東京電力株式会社（4月11日撮影）

地下貯水槽No.3南西側マンホールの移送ポンプ
漏えい箇所（フランジ部） 保温材撤去後



【提供】東京電力株式会社（4月11日撮影）